

## 3月20日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●クリミア併合9年で電撃訪問＝ロシア大統領、実効支配誇示(Microsoft Start, 2023年3月18日)

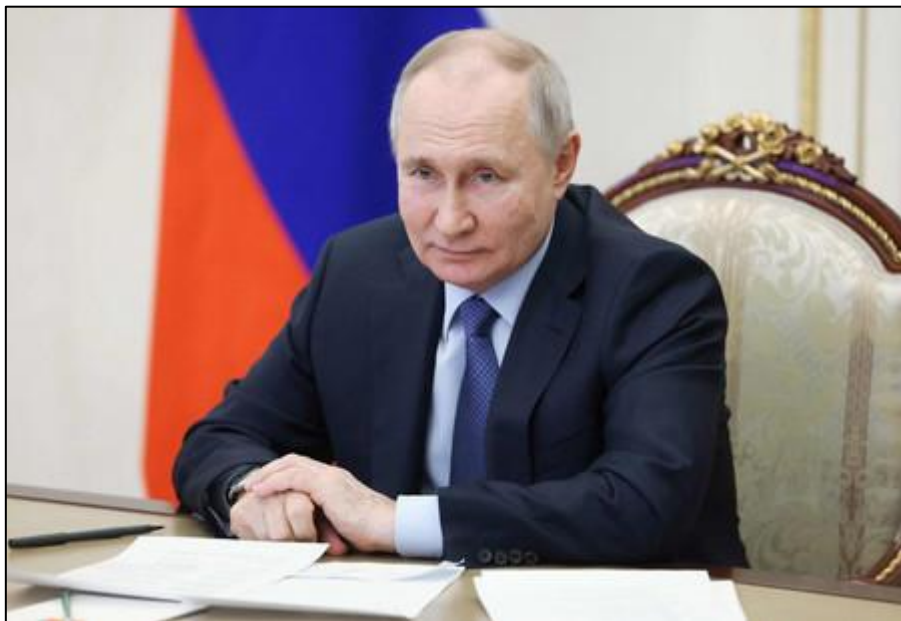
ロシアのプーチン大統領は18日、ウクライナ南部クリミア半島を一方的に「併合」してから9年を迎え、現地の軍港セバストポリを予告なしに訪れた。ウクライナ侵攻から1年が過ぎ、東・南部での戦闘が長期化する中、占領地の実効支配を誇示し、ゼレンスキー政権による奪還を許さない姿勢を強調した。

プーチン氏はこれまで併合記念日などの節目を含め、クリミア半島をたびたび訪問。昨年10月にロシア本土との間を結ぶ自動車・鉄道橋が爆破された後、12月には自ら車を運転し、復旧状況を視察している。

クリミア半島はロシアにとって「国内」の扱いだが、今月17日に国際刑事裁判所(ICC)から逮捕状を発付されて以降、国際社会が認めるロシア国境の外に出るのは初めて。

プーチン氏は現地に完成した子供の美術学校を見学し、セバストポリのラズボジャエフ市長から「素晴らしい指導者だ」と称賛された。ICCからは、占領地の子供の連れ去りを戦争犯罪と非難されている。

パスコフ大統領報道官は先に、併合に関する行事などにはオンラインで臨むと説明。プーチン氏は17日、クリミア半島の社会・経済発展に向けた政府会議を開いていた。



### ●黒海でアメリカの無人機が墜落したことについてのラブロフ外相(2023年3月19日)

「アメリカ国防総省合同参謀本部の代表者が、米国は国際法に従って、どこでも好きな場所に飛行し続ける、と言っているのをおそらくあなたも聞いたことがあるでしょう。しかし、この論理に従えば、us米国の周りのスペースは、黒海の周りのスペースと同じステータスになります。しかし彼らは、ru特殊軍事作戦の開始後、私たちの軍隊は特定の場所の海岸に隣接する黒海の関連地域を、航空機の使用が制限されている地域として宣言している事実を完全に無視しています。

そしてこれは、言うまでもなく、この客観的事実に対する傲慢な無知であり、アメリカ側は、その対

立的アプローチをエスカレートさせるために、ある種の挑発を常に探していることを示唆しています。彼らは自分達は敵対する国家間の力の均衡に配慮する、責任ある勢力であると常に述べていたもので、これは酷いです。これはブリンケン国務長官がインドでの会議で私に言ったことですが、彼らの言葉と行動は全く違います」

これは世界の安全保障にとって何を意味するのでしょうか？

「世界の安全保障にとって、世界の 2 大核保有国間の衝突を引き起こす事件は、常に深刻なリスクを伴います。彼らはこれを理解できません」

<https://twitter.com/i/status/1636403212701032450>



## ●西側の狙いは「ロシアの体制転換」と認める(2023年3月10日)

このニュース、みんな無視しているような気がする。カナダのメラニー・ジョリー外相が、欧米がウクライナをロシアの体制転換のための代理人として使っていることを公然と認めた。

**Regime change in Moscow 'definitely' the goal, Joly says, as Canada bans Russian steel, aluminum imports**

*Canada's politicians 'don't want to recognize ... that the current Russian policy is supported by the ultimate majority of the nation,' Russia's Ambassador countered*

 The Canadian Press  
Dylan Robertson and Sammy Hudes

Published Mar 10, 2023 • Last updated 2 days ago • 3 minute read

Join the conversation



## ●米、無人機事件を「危険で、無謀で、プロ意識に反する行動」と非難(2023年3月17日)

投稿者コメント:何言ってんの? ✪ ロシアが飛行を禁止してる区域に無人偵察機を飛ばしたのはアメリカですよ!! 墜落現場の地図に関する最新のビデオを紹介します。

<https://twitter.com/i/status/1636585991304790016>



## ●マクロン が年金改革について、議会採決を飛び越して強行採決(2023年3月17日)

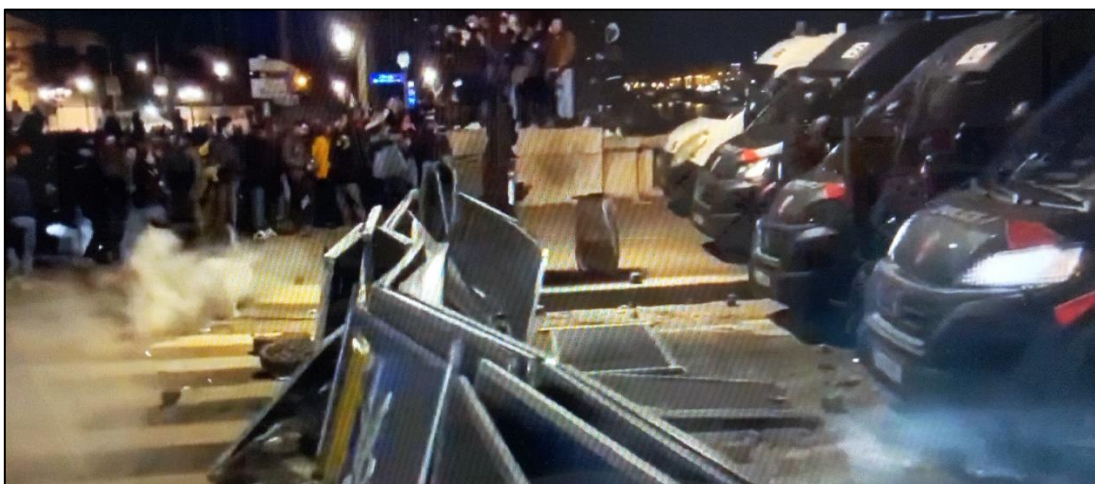
投稿者コメント:フランスの マクロン が悪評高い年金改革について、特権利用で議会の採決を飛び越して強行採決! フランスがさらに大荒れに?

フランスの年金受給の年齢を62歳から64歳に引き上げる法案で、国内で市民が大規模な抗議活動・暴動を起こしていました。議会の外では抗議する市民が「マクロンは辞職せよ!」と叫んでいる中、「この法案は絶対に可決させる! もうお金がないから!」と宣言していたマクロンがまさかの特権使用で強行採決をさせました。

左派の議員らが「64歳引き上げ反対!」と書かれたプラカードを掲げ、フランスの国歌を議事堂で歌い始めるという、前代未聞の大混乱!

これをフランスの市民は絶対に黙ってないでしょう。今も十分に叫んでいます、今後さらにフランスの混乱が悪化すると考えて間違いない!!

<https://twitter.com/i/status/1636527865696235522>



## ●ポーランドがウクライナに供与する戦闘機はロシア軍の攻撃目標＝露下院外交委員長(2023年3月17日)

ポーランドがウクライナに供与する MiG-29 戦闘機はロシア航空宇宙軍にとって正当な攻撃目標となった。ロシア下院外交委員会のレオニード・スルツキー委員長が表明した。

先にポーランドのアンジェイ・ドゥダ大統領はウクライナ軍が近く 4 機の MiG-29 戦闘機を受け取ると表明していた。これについてスルツキー委員長は SNS に投稿した中で、「MiG の寿命は数年ではなくて、数か月に縮まった、それはロシア航空宇宙軍の正当な攻撃目標となった」と記した。

また、委員長はこれらの戦闘機について、いずれも旧式であるとした上で次のように指摘した。

「ポーランド政府は欧州で反ロシアのリーダーを目指しているが、どうやら米軍と NATO 軍がカモフラージュされたその政治的なシグナルを正しく解釈し、ウクライナに F16 戦闘機は供与しないという姿勢をキャンセルすることに期待を寄せているようだ」

このようにスルツキー委員長はポーランド側の「PR 活動」を解釈し、欧米によるウクライナへのさらなる戦闘機供与をけん制した。



## ●ウクライナ兵がコーランを焼き捨てる動画を投稿、ムスリム世界連盟が反発(2023年3月17日)

ウクライナ兵と見られる人物がイスラム教の聖典であるコーランを焼き捨てる動画を撮影し、SNS に公開した。これを受け、ムスリム世界連盟最高会議のアフメド・アッチア氏(イエメン政府の元閣僚)は声明を発表し、民族間の対立を煽る行為と指摘した。

先にロシア連邦チェチェン共和国のラムザン・カディロフ首長はこのビデオ映像を SNS でシェア、この人物を「無力化」した人物には 500 万ルーブル、捕虜にした人物には 1000 万ルーブルの報奨金を約束した。

また、コーランをまな板代わりに使用したイタズラ動画も投稿されている。

こうした動画投稿を受け、ムスリム世界連盟のアッチア氏は SNS に投稿し、次のように指摘した。

私たちは一部のウクライナ兵がコーランを焼き捨てた動画を見ました。これはとても悲しいことで、イスラム教と他の文明社会、宗教との関係に真っ向から矛盾するものです。これらの行為は全世界に 15 億人もいるイスラム教徒に対する不遜を証明するものです。私たちイスラム教徒はあらゆる宗教、

信仰を尊敬します。トーラー(ユダヤ教の聖典)もバイブル(キリスト教の聖典)も尊敬します。ですが、私たちに対する扇動行動をよく目にします。

このようにアッチア氏は指摘し、こうした動画は民族間の対立を煽るものになると懸念を示した。その上でウクライナ政府がこの事態を受け、明確な立場を表明することに期待するとした。

<https://twitter.com/i/status/1636056991964487681>



## ●ウクライナ問題に関する共和党大統領候補たちの回答(2023年3月14日)

2024 年米共和党の大統領候補者全員に、ウクライナ戦争に関する 6 つの重要な質問に答えてもらいました。約束通り、彼らの回答の全文は以下の通りです。

### ①前大統領:ドナルド・トランプは、ウクライナに関するアンケートに答えています。

もし私が大統領であったなら、ロシアは間違いなくウクライナを襲撃したり攻撃したりしなかったでしょう。実際、4 年間、彼らは攻撃しなかったし、私が責任者である限り、攻撃するつもりもなかった。しかし、悲しいことに、少なくとも部分的には、アフガニスタンからの撤退を無能に処理したことによって引き起こされた、米国に対する新たな敬意の欠如と、米国の要請と意図を説明する際のバイデンの非常に悪い言葉の選択(バイデンの最初の発言は、ロシアはウクライナの一部を手に入れても問題ない!)により、流血と費用のかかる攻撃が始まり、今日に至っています。しかし、どうやって終わらせるのでしょうか?今すぐ終わらせなければなりません。まずはヨーロッパに、アメリカがウクライナを助けるために支払っている金額と少なくとも同額を支払わなければならないと伝えることから始めましょう。さらに、その差額を過去にさかのぼって私たちに支払わなければならない。次に、ウクライナに、ロシアが戦争を遂行し続けない限り、私たちからの資金提供はもうほとんどないと伝えましょう。大統領は、それぞれの側と、そして両方の側と一緒に会い、迅速に取引を成立させなければならない。これは、適切な大統領が実施すれば簡単にできることだ。両陣営は疲弊しており、取引する準備ができています。会談は直ちに始めるべきだ、時間の余裕はない。死と破壊は今すぐ終わらせなければならない。

適切に実行されれば、この恐ろしい悲劇的な戦争は、そもそも始まるはずのない戦争は、速やかに終結することになる。God bless america!!!”

Q:ウクライナでロシアに対抗することは、アメリカの重要な国家戦略的利益なののでしょうか？

A:いいえ、しかし、ヨーロッパにとってはそうです。しかし、アメリカにとってはそうではない。だからこそ、ヨーロッパは我々よりはるかに多く、あるいは同等に支払うべきなのです。

Q:ウクライナにおける我々の目的は具体的に何なのか、そしてそれを達成した時にどう分かるのか？

A:ウクライナにおける我々の目的は、ヨーロッパを助け、安全を確保することである。しかし、ヨーロッパは自助努力をせず、その大部分を米国に頼っている。これは、我々にとって非常に不公平なことです。特に、ヨーロッパは貿易やその他のことで我々を利用しているのですから。

Q:ウクライナ政府に送る資金や物資の限度はどれくらいでしょうか？

A:それは、プーチン大統領やロシアとの会談に強く依存するだろう。私が大統領であれば、ロシアはウクライナを攻撃することはなかつたろう、わずかな可能性もない。私が大統領であったなら、決して起こらなかつたろうが、起こってしまった。私は、ロシアがどのような方向に向かっているのかを確認しなければならないだろう。私はロシアにやめてもらいたいと思っていますし、そのメッセージを伝える人次第では、そうなるでしょう。しかし、すべてがそうである以上、ヨーロッパは支払わなければならない。米国は欧州よりもはるかに多くの金額を費やしており、それは公平でも公正でも衡平でもない。私が大統領なら、あの恐ろしい戦争は 24 時間以内に終わらせるだろうし、そうしなければならない。それは可能であり、今すぐ実行しなければならない！。

Q:米国はロシアの政権交代を支持すべきか？

A:いや、米国の政権交代を支援すべきだ。そちらの方がはるかに重要だ。バイデン政権は、我々をこの混乱に巻き込んだ張本人だ。

Q:ロシアの経済と通貨が戦前より強くなっていることを考えると、米国の制裁は効果があったと思いますか？

A:いや、効果があったとは言えない。その逆だ。ロシア、中国、イランを考えられないような状況に追い込んだのです。”

Q:米国はロシアとの核戦争のリスクに直面しているとお考えでしょうか？

A:米国の大統領が誰なのかによる。今のところ、バイデンが大統領である以上、絶対にイエスだ。彼は間違った時に間違ったことをすべて言ったりやったりする。

## ②フロリダ州知事ロン・デサンティスは、ウクライナのアンケートに答えています。

「米国には、国境の安全確保、軍備の危機への対処、エネルギーの安全保障と独立の達成、中国共産党の経済・文化・軍事力の牽制など、多くの重要な国益があるが、ウクライナとロシアの領土紛争にさらに巻き込まれることはそのうちの一つではない。バイデン政権が、明確な目的も説明責任もなく、「必要なだけ」この紛争に事実上「白紙委任」していることは、わが国の最も差し迫った課題から目をそらすものである。

間違いなく、平和が目的であるべきだ。米国は、米軍の派遣を必要としたり、ウクライナが国境を越えて攻撃的な活動を行うことを可能にしたりするような援助を提供すべきではないだろう。したがって、F-16 や長距離ミサイルの供与も見送るべきである。これらの動きは、米国を明確に紛争に巻き込み、世界の 2 大核保有国間の熱い戦争に近づける危険性がある。そのようなリスクは容認できない。

ロシアにおける「政権交代」政策(DC の外交政策介入論者の間で人気があるのは間違いない)は、紛争の利害関係を大きく拡大し、核兵器の使用をより可能性の高いものにする。このような政策は、戦争の死と破壊を止めることも、クレムリンに親米、マディソン派の憲法学者を誕生させることもできないだろう。歴史が示すように、この仮説におけるプーチンの後継者は、おそらくさらに冷酷な人物になるだろう。このような怪しげな結果を得るためのコストは、天文学的な数字になる可能性がある。

バイデン政権の政策は、ロシアを中国との事実上の同盟関係に追い込んでいる。中国は禁輸措置を守らず、今後も守らないので、ロシアは海外からの収入を増やし、中国は安い燃料の恩恵を受けている。戦略石油備蓄を意図的に枯渇させ、左派のグリーン・ニューディールを支持するバイデンは、米国人の犠牲の上に、ロシアのエネルギー支配経済とプーチンの戦争マシーンをさらに強化したのである。

私たちの市民は、何十億という米国の税金がウクライナでどのように利用されているのかを知る権利もある。

特に、開放された国境を越えて密輸された麻薬によって毎年何万人ものアメリカ人が死亡し、自国の安全保障に不可欠な武器庫が急速に枯渇している現状では、自国の防衛よりもエスカレートする外国との戦争への介入を優先することはできない。

### ③元副大統領マイク・ペンスは ウクライナ・アンケートに答える

Q:ウクライナでロシアに対抗することは、アメリカの重要な国家戦略的利益なのか？

A:米国がプーチンと戦うウクライナを支援するとき、我々はレーガン・ドクトリンに従い、敵の海岸で敵と戦う者を支援し、自分たちが敵と戦う必要がないようにする”。共和党にプーチン擁護派が入る余地はない。これはアメリカの戦争ではないが、プーチンを阻止し、ウクライナの主権国家を速やかに回復させなければ、プーチンは NATO の同盟国に向かって動き続け、そのときア元副社長 メリカは自国を派遣するよう求められることになるであろう。

ウラジミール・プーチンはその本性を現した。征服に明け暮れる独裁者であり、大ロシア帝国を再興するという公約のためなら、何千人もの命を費やすこともいとわれない。プーチンがウクライナの国境で立ち止まると考えている人は、プーチンが何者であるかという現実を受け止めていない。グルジア、クリミア、ウクライナはプーチンのリストの上位にあるだけで、プーチンが狙っている国はそれだけではないということ、私たちはロシアの脅威について明確に認識する必要があります。また、ウクライナを支援することで、中国がロシアに追随して侵略しようとした場合、台湾を支援することを伝えている。”

Q:ウクライナにおける我々の目的は具体的に何なのか、そしてそれを達成した時にどう分かるのか？

A: ウクライナの勝利、すなわちウクライナの主権と平和ができるだけ早く回復されることです。残念ながら、バイデン政権はウクライナへの援助を遅々として進まず、ウクライナへの情報提供から、ロシアへの制裁、ウクライナへの軍備や戦闘機の提供まで、あらゆる対応が遅すぎたのです。

ウクライナの勝利は、ロシアとその同盟国にとって、まぎれもない、否定できない敗北となるはずだ。

Q:ウクライナ政府に送る資金や物資の限界はどれくらいでしょうか？

A:財政保守派として、私は白紙委任状を送ることを信じておらず、国内外での政府支出の監視を望んでいます。しかし、支援の差し控えや縮小は、結果をもたらさず、今プーチンを止めず、NATO の支配地域に進出すれば、その代償ははるかに大きくなる。

Q:米国はロシアの政権交代を支援すべきでしょうか？

A:それは、ロシアのウクライナ侵攻に抗議して投獄された何千人ものロシア国民に対するより良い質問である。プーチンのウクライナ侵攻で 20 万人ものロシア軍が死傷している。その喪失を悲しむ家族に、政権交代を支持するかどうかを問うべき質問だ。

Q:ロシアの経済や通貨が戦前より強くなっていることを考えると、米国の制裁は効果があったとお考えですか？

A:トランプ・ペンス政権は壊滅的な制裁プログラムを確立し、冷戦以来、ロシアに対して最も厳しい米政権となった。バイデン政権が新たな制裁を迅速に進め、西ヨーロッパが米国の警告に耳を傾けてエネルギー源を他に求めていけば、対ロ制裁はさらに痛みを伴う結果を招いたかもしれません。

ロシアの経済と通貨は、戦前より強くはない。ロシア経済は自由落下状態にある。ロシア・ルーブルがまだ浮いているのは、ロシアが制裁に直面して自国通貨を戦前の水準に保つためにとった非常にコストのかかる措置のためである。ロシアは現在、中国に支えられているが、もし中国が支援を打ち切れば、プーチンは早ければ 2024 年までに資金不足に陥るかもしれない。この戦争は、ロシアの経済、軍事力、世界舞台での地位、そして人命を犠牲にしているのです。”

Q:米国はロシアとの核戦争のリスクに直面しているとお考えでしょうか？

A:プーチンは今でも「ロシアの小さくいじめられるリーダー」である。彼が核戦争を口にするのは、侵略開始時に使ったいじめの戦術である。しかし、プーチンは、米国がいじめられないことを知るべきだ。この政権は世界の舞台で強さをもってリードしてこなかったが、アメリカは今でも平和は強さによってもたらされると信じている国なのだ。

#### ④2024 年米共和党大統領候補ヴィヴェク・G・ラマスワミーはウクライナ・アンケートに答える

Q:ウクライナでロシアに対抗することは、アメリカの国家戦略上、極めて重要な利益なのか？

A:「いいえ、”vital ”ではありません。むしろ、この戦争は、アメリカの国家戦略上の重大な利益である、国家のエネルギーの自立を、はっきりと思い起こさせるものです。この戦争は、アメリカの自給自足の欠如を示す症状である。プーチンは暴君であり、この必要のない戦争を始めた。しかし、彼がそうしたのは、私たちが彼の意思決定のバランスを侵略に有利に傾けるインセンティブを作り出したからだ。もしプーチンが、欧米が石油やガスの供給を自分に頼っている(米国や西ヨーロッパは、自らの生産能力や意思に自業自得の制限があるため)ことを知っているならば、より強い立場にあり、それが彼に勝てると思わせたのである。バイデン政権はエネルギー安全保障を弱め、プーチンがウクライナに侵攻するための条件を整えたが、これはもちろん望ましくない結果である。バイデン氏はこれに対し、米国以外の世界のあらゆる場所で、石油やガスの生産を増やすよう呼びかけました。

アメリカが外国のエネルギーや石油に依存すればするほど、石油の独裁者に対する影響力が弱くなる。

ヨーロッパの安全保障は、ヨーロッパ人が主体的に担う必要があります。ドイツ人をはじめとするヨーロッパ人は、自分たちのためにもっと努力する必要がある。残念ながら、ドイツはエネルギーの「グリーン化」を選択したため、ウクライナや防衛全般に関する負担を私たちに求めている。私たちはGDPの4パーセント近くを防衛費に費やしていますが、ドイツはやっと1パーセントを超えたところです。ウクライナは彼らの裏庭にあり、私たちのものではありません。ドイツや他のヨーロッパ諸国が自国のエネルギーを生産できない、あるいは生産しようとしなければ、ルイジアナやテキサスから、そしてペンシルベニアや私の故郷オハイオ州から天然ガスを買うべきだろう。

外交政策は優先順位が重要です。私の外交政策の優先順位トップ 2 は、共産中国からの独立宣言



とメキシコの麻薬カルテルの殲滅(せんめつ)です。

メインとすべきは、中国に焦点を当てることです。中国は、ウクライナ戦争をできるだけ長く続け、西側の軍事力を枯渇させてから台湾に侵攻することを望んでいる。ウクライナを助けることで強くなったように見えるが、実際には中国に対して弱くなっているのである。

私たちは 20 年間、中東や中央アジアの洞窟で人々をドロンしてきたが、その成果はほとんどなかった。毎年 10 万人以上のアメリカ人を死に追いやったメキシコの麻薬カルテルに対抗すべきだ。

Q:ウクライナにおける我々の目的は具体的に何なのか、そしてそれが達成された時にどのように分かるのか？

Aウクライナにおける我々の目的は、米国が以前に行った法的な条約上の約束を尊重することであり、将来的な約束の際に我々の信頼性を維持することであるはずだ。(私は、議会在が認識し承認した約束と、バイデン政権が作り上げたかもしれない秘密取引とは明確に区別している)。

ロシア、ウクライナ、米国、英国が署名したブダペスト覚書は、ウクライナの主権と領土の完全性を保証するものだった。ウクライナは大量の核兵器を放棄し、安全保障上の保護を受けたが、同盟や戦争への誓約ではなく、既存の国境の主権を尊重することを約束しただけである。1994 年当時、それが正しい決断であったかどうかは、合理的な議論が必要である。そして、私たちはそれを守ってきた。

しかし、今は前に進む時なのです」。

「ロシアが「紙の虎」であることを明らかにすることで、重要な目的はすでに達成されている。ロシアの軍事力は、米国の国防機関が以前想定していたよりもはるかに弱い(彼らの「情報」評価に関するあらゆる間違った実績は年々増えるばかりだ)。ウクライナが数日で崩壊すると予測したことを思い出してほしい。情報専門家」に対する別の呼び方を見つける時が来たようだ。

第二の目的は、プーチンが NATO 諸国を含む他のヨーロッパ諸国に対して攻撃するのを抑止することである。しかし、この目標は、アメリカのエネルギー自給を保証することによって達成できる。バイデンは、EU がロシアの石油禁止令を採択しないよう働きかけ、同時にロシアと戦うためにウクライナに 1130 億ドルの援助を送ったことは驚くべきことである。言い換えれば、だ。バイデンは、片方の手でプーチンの戦争マシンに資金を提供するのを助け、もう片方の手でウクライナにお金を送っているのである。もっと重要なことは、プーチンのポーランド侵攻を抑止したいのであれば、ドイツにいる数万人の軍隊をポーランドに移動させてシグナルを送ればよいのであって、ウクライナで戦争をすることではない。

第三の目的は、ヨーロッパ人が自分たちのことは自分たちでやるように、必要なら揺さぶりをかけることである。私はアメリカ・ファースト 2.0 を信じているが、少なくともヨーロッパをヨーロッパ・ファースト 1.0 に導くべきだ。ウクライナに底なしの援助を提供することで、まさにこの目的を積極的に損なっているのです。

Q:ウクライナ政府に送る資金や物資の限界はどれくらいでしょうか？

A:一般的に言って、私たちの終わりを予告することは賢明ではないと思いますし、2025 年 1 月の事実は現在とは大きく異なっているかもしれないと思います。しかし、はっきりさせておきたいのは、もし私が今大統領なら、ウクライナへのさらなる資金提供や支援を制限するだろうということだ。

ウクライナは今、アメリカの外交政策の優先順位のトップ 5 には入っていない。それなのに、戦争に費やしたお金が効果的に行われているのか、もしかしたら戦争を長引かせているのではないかと疑問を呈するだけで、不誠実だとみなされる。私たちは、民主党と共和党の両方から、“プーチンシンパ”だと非難されています。ワシントンの一党と国防請負業者はこの紛争が永遠に続くことを望んでいる。

世界経済と平和のために、我々は明日にでもこの紛争を終わらせるために全力を尽くすべきである。

先ほど述べたように、バイデンはウクライナに 1130 億ドルの援助をする一方で、一方で EU のロシア産原油輸入禁止に反対する働きかけをした。アメリカは自国の生産能力で足元をすくわれた。このゲームに誰が勝つかは不明だが、敗者はアメリカであることは明らかだ。

何度も言うが、欧州はもっと、もっとやる必要がある。ヨーロッパの人たちはフリーローディングに慣れてしまっています。フリーローダーがどうなるか、私たちは知っています。私たちはいつまでもヨーロッパの乳母でいることはできません。私たちは自国で面倒を見るが多すぎるのです。フェンタニルが流入し、毎年何十万人ものアメリカ人が命を落としている。他人の国境を守る前に、私たちの国境を守るときが来たのです。これは、適切かつ道徳的に正当な軍事力の行使となる。南国境を確保し、自国内で無数のアメリカ人の死因となっている麻薬カルテルを消滅させるのだ。

私たちは、産業基盤の脆弱性という大きな問題を発見しました。ウクライナへの援助が、自国の防衛に必要な軍需品やその他の資材を流出させたという報告には、心を痛めている。

特にメキシコの麻薬カルテルや共産中国から自国の国土と国境を守るためには、これらの防衛資源を枯渇させることは機会損失である」。中国に対抗し、台湾を防衛するためには海軍の強化が必要だ。しかし、それは思い上がった考えであり、将来的に大きな未知数を抱えている以上、甘受すべきではない。

Q: 米国はロシアの政権交代を支援すべきでしょうか？

A: 「リビア、イエメン、アフガニスタンなど、数え上げればきりが無いほど、私たちはこの映画を見てきた。リビア、イエメン、アフガニスタンなど、枚挙にいとまがない。そして、政権交代が実現しても、たいてい後悔することになる。政権交代は、意図しない結果を招くことが多い。我々が心配しなければならない大きなリスクは、プーチンを習近平の手の中に追いやることだ。私たちの政策は、まさに今、その効果を発揮している。

Q: ロシアの経済と通貨が戦前より強くなっていることを考えると、米国の制裁は効果があったとお考えでしょうか？

A: 明らかに違う。ロシアが強くなったのは、物価の上昇によって石油やガスの収入が増えたからだ。米国と西側諸国の教訓は、ロシアと中国をそのままにして西側諸国を束縛する気候カルトを放棄することである。私たちは自国のエネルギーを制限し、ロシアと中国は石炭を含む自国のエネルギーにペダルを踏み込んでいっているのだ。バイデン政権は、世界が決して達成することのない遠い未来の神話的な目標であるグリーン・ゴールの祭壇に、私たちのエネルギー支配を陽気に犠牲にしているのです。私は大統領として、このような愚かで自滅的なゲームを終わらせます」。

Q: 米国はロシアとの核戦争のリスクに直面していると思いますか？

A: 核戦争のリスクは、中国がロシアを支援し始めれば始めるほど高くなります。これは、米国がロシアに対して攻撃的な姿勢をとりながら、中国に甘くなることの 1 番のリスク要因です。つまり、プーチンをそのまま習近平の手に渡すことになります。

外交政策の確立は、ロシアに関して何度も何度も弱さを示してきた。ロシア連邦との核兵器交渉もその一つで、現在も続いている。プーチンとロシア人、そしてその前のソビエトは、私たちが結んでいるすべての核軍縮条約を堂々と破っただけでなく、米国は交渉力のかけらも放棄している。屈辱的なことだ。トランプ政権は、当然のことながら、バイデン政権が急襲してそのプロセスを止め、すべての交渉力を浪費し、不条理にも 5 年間の延長に署名したため、新 START 条約から手を引き始めた。

ロシアは、ペンシルベニア州ほどの経済規模を持つ第三世界のガソリンスタンドかもしれない。しか

し、アメリカを含む地球上のどの国よりも多くの核弾頭を持つ第三世界のガソリンスタンドである。世界の防衛体制は、砂から頭を出して、核兵器禁止条約の制約を受けない中国が密かに核兵器の備蓄を増やしているという事実立ち向かわなければならない。彼らは核のパリティに近づいているのだ。

このような理由から、米国本土を守るための全領域的なミサイル防衛を進めることは、米国の国家安全保障上有益である。私たちは、軍事費を底なしで使う余裕はなく、実際に国防上の利益を高める優先事項に焦点を当てる必要がある。

### ⑤サウスダコタ州知事 クリスティ・ノームは、ウクライナに関するアンケートに答えています。

Q: ウクライナでロシアに対抗することは、アメリカの重要な国家戦略的利益なのか？

A: 「米国にとっての主要な外的脅威は共産中国である。私たちがロシアに反対することで、多くの理由でこの脅威が高まった。1 つは、ロシアを中国との同盟関係に追い込んでいること。2 つ目は、腐敗した国に武器を送ることで、自国の軍隊を弱体化させていることです。そして 3 つ目は、私たちはボールから目を離し、中国が彼らの銀行に便宜を図るのを許しているということです。これはヨーロッパの戦いであるべきで、私たちの戦いではない。核戦争の危険を冒して税金を浪費するべきではありません。」

Q: ウクライナにおける我々の目的は具体的に何なのか、そしてそれを達成した時にどうやって知ることができるのか？

A: 「米国民が我々をこの戦争に巻き込んだのではない、ジョー・バイデンがやったのだ。バイデンは、ロナルド・レーガンがソビエト連邦にしたのと同じようなことをロシアにできるという幻想を抱いています。彼の妄想は、多くのアメリカの資金を浪費し、多くの人を殺すことになる。」

力による平和を追求する大統領がいれば、プーチンがウクライナに侵攻する勇気はなかっただろう。この種の紛争を回避する唯一の方法は、強さを誇示することです。だからこそ、有権者はバイデンと民主党を政権から追い出さなければならないのです。」

Q: ウクライナ政府に送る資金や物資の限界は？

A: 「ウクライナへの大盤振る舞いは、すでに度を越している。ウクライナ政府は天使で構成されているわけではありません。彼らは長い間、汚職スキャンダルの歴史があり、最近のニュースではこの問題が進行中であることが示されています。」

連邦政府はウクライナへの援助に 2,000 億ドルに迫っている。過去 5 年間を合わせても、国境を守るためにこれだけの額を費やしていない。私たちは、自らの経済的不利益のために腐敗した政権を支えるべきかどうか、疑問を持たなければなりません。」

Q: 米国はロシアの政権交代を支援すべきでしょうか？

A: 「現時点ではありません。」なぜなら、それはヨーロッパをさらに不安定にし、核のはしごをエスカレートさせることにつながるからです。

Q: ロシアの経済や通貨が戦前より強くなっていることを考えると、米国の制裁は効果があったと思うか？

A: 「アメリカは抑止力の武器として、金融制裁にあまりにも頼りすぎてしまった。今、アメリカを憎む国々は、世界の基軸通貨であるドルから意識的に離れている。」

中国、イラン、ロシアに対する制裁は、ロシア・ルーブルを強化し、中国が米ドルではなく中国のお金で貿易を行うことを可能にした。

これらの制裁の最悪の副作用として、アメリカや世界中で石油や天然ガスの価格が高騰しているこ

とが挙げられます。ロシアは石油やガスの販売量を減らしているが、はるかに高い値段で販売している。

戦争後、ロシアの経済が強くなったというのは、反実仮想です。ここでは、”より回復力がある ”という表現が適切であろう。ロシアは制裁を見事に乗り切ったが、経済は弱いままである。そして、ロシアが引き起こした世界的な不況に巻き込まれることになるのだ。

Q:米国はロシアとの核戦争のリスクに直面していると思うか？

A: バイデン政権は、一連の挑発的な行動と発言によって、我々を急速にエスカレートさせようとしている。プーチンが米国に対して行ういかなる正当な脅威に対しても、我々は引き下がることはできない。私たちは今、戦術核兵器の使用にかつてないほど近づいている。プーチンが最初に使うのは、それだろう。これは、ニューヨークやロサンゼルスに「大きなもの」を投下するということではない。プーチンは、封じ込められた戦闘環境の中で、何千もの魂を虐殺するだろう。

#### ⑥州知事グレッグ・アボットはウクライナについて回答します

バイデン大統領のウクライナにおける白紙委任外交政策は、敵対国から嘲笑と軽蔑を買うだけで、米国に必要な資金を流用している。説明責任も目的もなくウクライナに資金を投入することは、明らかに失敗している。さらに悪いことに、バイデン大統領のウクライナへのアプローチは、自国の優先事項への資金提供不足、あるいは無視を犠牲にしている。ウクライナの国境にこれ以上資金や資産を送る前に、移民法を施行し、南の国境を確保しなければならない。テキサス州知事として、私はバイデンが作り出したこの国境の危機に対応し、テキサス州民のために今議会で真の成果を出すことに集中している。”